

舞台芸術創造セミナー 2016

アーティストと制作者のための舞台技術講座

(1) 照明と映像について (2) 舞台美術と衣裳について

新しい舞台芸術作品を創造していくために、アーティストや制作担当者が知っておくべき「舞台技術」に関するセミナーを開催します。今回は、照明と映像、舞台美術と衣裳という関連のある分野を組み合わせ取り上げ、第一線で活躍するデザイナーやディレクターを講師に迎えて、その違いと関連性を踏まえての講座を予定しています。

(1) 照明と映像について

2016年 1月 16日(土) 14:30-17:30

17日(日) 12:00-15:00

愛知県芸術劇場 大リハーサル室

講師：藤本隆行（ディレクター・照明家）・小西小多郎（映像ディレクター）

主な内容：照明と映像の違い、その違いをうまく生かした舞台での使い方など。

(2) 舞台美術と衣裳について

2016年 2月 18日(木) 18:00-20:30

19日(金) 18:00-21:00

18日：愛知芸術文化センター アートスペース E・F

19日：愛知県芸術劇場 大リハーサル室

講師：杉山至（舞台美術家）・堂本教子（衣裳デザイナー）

主な内容：舞台演出の印象を決める大きな要素となる舞台美術と衣裳。より演出効果を引き立て合うための関係性とは。

受講料

1プログラム（2日間通し）3,000円 ※初日に会場受付でお支払いください。

対象

新しい舞台芸術作品の創造に関心のある、アーティスト・制作者・劇場・音楽堂等に勤務する職員・大学等にて舞台芸術を学ぶ学生等。※両プログラムとも、2日続けて受講できる人に限ります。

定員

各プログラムとも 50人（先着順）

メール event@aaf.or.jp

申込み
(先着順)

【件名】舞台芸術創造セミナー申込み

- ① 受講したいプログラム名
- ② 名前 ③ 所属（カンパニー名、勤務先、学校等）
- ④ 連絡先（メールアドレス、電話番号、住所）

申込み期日

平成 27年 12月 25日

※定員に達した場合、期日を待たずに締切ることがあります。

主催
問合せ

愛知県芸術劇場

事業部 担当：藤井、唐津、山本

助成

文化庁平成27年度劇場・音楽堂等活性化事業、（一財）地域創造

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

電話：052-971-5609 Eメール：event@aaf.or.jp

講師プロフィール

(1) 照明と映像について

藤本隆行（ディレクター・照明家）

1987年「ダムタイプ」に参加、主に照明、テクニカル・マネージメントを担当。その後LED照明を使ったパフォーマンス作品『true/ 本当のこと』（2007、白井剛、川口隆夫、真鍋大度らと共に）、『Node/ 砂漠の老人』（あいちトリエンナーレ 2013、白井剛と共に）等を発表。LED照明はじめデジタル・デバイスと人体の高密度の同期化に焦点を当てた、有機的な舞台を構築している。

小西小多郎（映像ディレクター）

美術家・高嶺格をはじめ、数々の現代美術や舞台作品で、映像、プログラミングを担当。協働スタジオ「コーポ北加賀屋」（大阪）のメンバーとしてオルタナティブスペース「adanda」主宰・運営、ハイパーパフォーマンスグループ「MuDA」参加等、多様な活動を展開中。

(2) 舞台美術と衣裳について

杉山至（舞台美術家）

舞台美術研究工房・六尺堂ディレクター、二級建築士。近年は劇団「青年団」、「地点」、「サンプル」等の舞台美術を担当。また舞台美術ワークショップを多数実施。2006年カイロ国際実験演劇祭参加作品：地点『るつぽ』にてベスト・セノグラフィー賞受賞。

堂本教子（衣裳デザイナー）

優れた造形感覚と素材に対する深い知識、ダンスや演劇の世界を手触り深く見事に衣裳化するデザイナーとして評価が高く、故・太田省吾を始め、鷹赤兒、松本雄吉、松田正隆、三浦基など当代を代表する劇作家／演出家からの信頼も厚い。2010年第36回橘秋子賞舞台クリエイティブ賞受賞。

舞台芸術
人材養成ラボ
について

愛知県芸術劇場では、地域全体での舞台芸術の振興及び芸術環境の整備につなげるため、芸術活動を担う人材を養成する研修プログラムを実施しています。2015年からは、これまで単発的に開催してきた人材養成事業を見直し、「舞台芸術人材養成ラボ」として、対象者別に、総合的・体系的に4つのプログラムを開催しています。

- ① 職場体験プログラム：学生インターン（職場体験）
（大学等と連携したインターンシップの受入）
- ② 実践実習プログラム：劇場インターン
- ③ 技能習熟プログラム：劇場職員セミナー
- ④ 創造制作プログラム：舞台芸術創造セミナー